

**製品名:** マクログロブリン  $\alpha$ -2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号:** APRab13548

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 $-20^{\circ}\text{C}$ で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	170kDa

**抗原情報**

遺伝子名	A2M
別名	A2M; CPAMD5; FWP007; Alpha-2-macroglobulin; Alpha-2-M; C3 and PZP-like alpha-2-macroglobulin domain-containing protein 5
遺伝子 ID	2.0
SwissProt ID	P01023
免疫原	抗血清はヒト A2M の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 871-920

**背景**

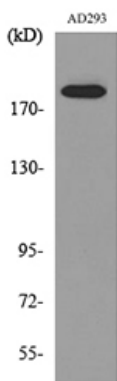
$\alpha$ 2 マクログロブリンは、プロテアーゼ阻害剤およびサイトカイントランスポーターです。トリプシン、トロンビン、コラーゲナーゼ

など、多くのプロテアーゼを阻害します。A2Mは、 $\beta$ アミロイド沈着物の主成分であるA $\beta$ の除去と分解を媒介する能力があるため、アルツハイマー病(AD)に関与しています。[RefSeq提供、2008年7月]、発達段階: ラットのタンパク質が急性期タンパク質であるのに対し、このタンパク質は常に高濃度で循環血中に存在します。機能: 独自の「捕捉」機構によって、4種類のプロテアーゼすべてを阻害することができます。このタンパク質は、「ベイト領域」と呼ばれるペプチド領域を有し、そこには様々なプロテアーゼに特異的な切断部位が含まれています。プロテアーゼがこのベイト領域を切断すると、タンパク質の構造変化が引き起こされ、プロテアーゼを捕捉します。捕捉された酵素は低分子量基質に対して活性を維持する(高分子基質に対する活性は大幅に低下する)。ベイト領域での切断後、チオエステル結合が加水分解され、タンパク質とプロテアーゼの共有結合を媒介する。オンライン情報:  $\alpha$ -2マクログロブリンのエントリ、類似性: プロテアーゼインヒビターI39( $\alpha$ -2マクログロブリン)ファミリーに属する。サブユニット: ホモテトラマー; ジスルフィド結合。組織特異性: 血漿。

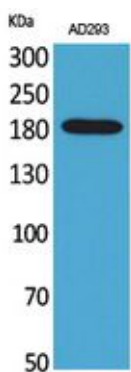
## 研究分野

補体と凝固カスケード;

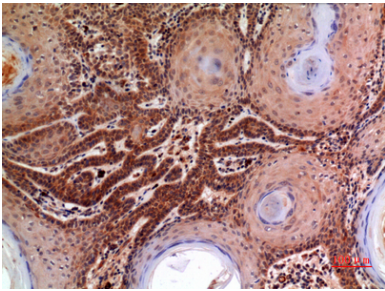
## 画像データ



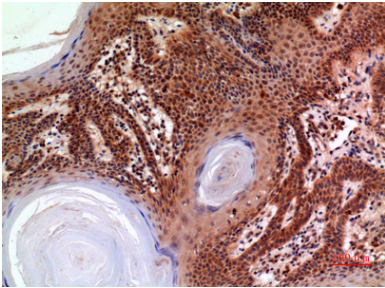
A2M抗体を使用したAD293細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



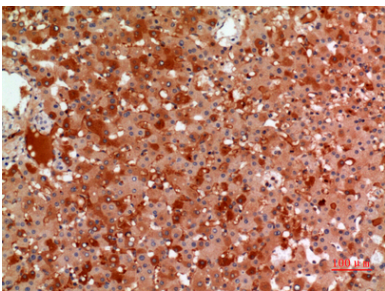
マクログロブリン $\alpha$ -2ポリクローナル抗体を用いたAD293細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は1:20000に希釈された。



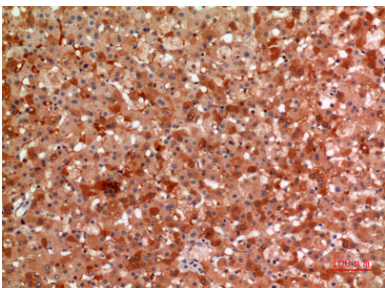
パラフィン包埋ヒト皮膚の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト皮膚の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された